

Lactis®

ラクティスの投与による効果

養鶏



鶏糞の排泄量 低減と臭気抑制

乳酸菌資材の飼料添加により粗蛋白質の蓄積率が向上し①、
鶏糞中の窒素含有率の低減から、鶏1羽当たりの窒素排泄量は約10%少なくなる。②
さらに、鶏糞からのアンモニアの発生が減り③、臭気が抑制される。④

- ① 飼料のコスト低減・増体効果が期待される。
- ② 飼料の利用効率の向上・鶏糞の処理コストの低減が期待される。
- ③ 飼料にはカルシウムが多く含まれており、鶏糞はアルカリ性に傾くためアンモニアの発生が著しい。鳥インフルエンザの防止のために鶏舎はウィンドレスによる飼育が主流となり、このアンモニアが飼育の妨げとなることから発生抑制・排出が急務となる。
- ④ 家畜飼育には臭気の問題が付きまとい、遠く離れていても風にのり多くの住民の悩みであります、臭気抑制効果は飼育農家と一般住民との隔たりを無くす役割を果たします。

死鶏の減少

● 孵化直後、あるいは入雛時の雛の消化器官には腸内菌の形成はなく、ほぼ無菌状態である。孵化後下界から消化器官内に侵入した菌が順次腸内細菌叢を形成していくことになります。● 一般的には乳酸球菌⇒大腸菌⇒乳酸桿菌の順に定着し、乳酸桿菌が優勢菌となると反比例した形で大腸菌群が減少します。● このことからラクティスを孵化後与えることにより、速やかに乳酸桿菌叢を形成させ大腸菌・サルモネラ菌の侵入定着を抑制し死鶏を減少させます。

ストレス解消

● 有用腸内細菌叢(乳酸菌コロニー)とストレスの強弱はほぼ比例関係があり、腸内細菌叢の安定によりストレスの軽減が見込めます。

増体効果

● 飼料の消化・吸収が高まることにより増体効果が見込めます。

抗生物質の低減

● 乳酸菌資材の飼料添加により抵抗力を維持し免疫能を保ちます。

消費者の安全性に対する関心が高まるなかで、抗菌性物質の使用を減らした飼養管理が求められています。

● このため、鶏の腸内細菌叢(腸内フローラ)を改善して、鶏が本来持っている抗病性を保持します。

鶏糞の有効活用

● 養鶏は採卵養鶏と肥育養鶏があり、そこから排出される鶏糞は堆肥・肥料として有効活用されているものはごく僅かで、ほとんどが焼却処分されています。理由として、鶏糞は未消化の穀類(有機物)が多く存在し、生・乾燥鶏糞を畑に施用すると、再発酵のためガス障害や多く含まれているカルシウムは植物に利用されにくく、耕作地に盤を形成したりします。● また、ウリカーゼによりアンモニアとして飛散した窒素成分は3%以下となることもすくなくありません。● 乳酸菌資材の飼料添加により、排出された鶏糞は乳酸菌の生成する乳酸により酸化されアンモニアの飛散を抑制します。また、カルシウムは乳酸カルシウム(有機酸カルシウム)となることで植物に利用されやすくなり堆肥・肥料として価値のある有機物に変わります。



牛



| 牛の健康の維持

- 牛はさまざま条件で健康を害することがあります。寒さでお腹を冷やす・強いストレスを感じる(暑さ・餌が変わる・飼育環境の変化)・悪い菌が入ってくるなどの現象が起きると悪い菌が体内で暴れ始め、細菌のバランスが崩れ体調を崩し下痢を起こします。**ラクティクス**の継続的な投与により、安定的な腸内フローラを確立(整腸効果)することで健康の維持ができます。
- 同時に腸内フローラを確立することで、悪玉菌(有害菌)が優勢菌にならず、大腸の健康を維持します。

| 飼料効率の改善

- 腸内環境の改善により、飼料の消化不良・栄養の吸収不良が改善され日増体重の増加(飼料要求率の改善)、枝肉重量の増加、肉質の向上、産乳量の増加、乳質の改善、大腸の健康維持、死亡牛の減少など、いずれにしても飼料の消化・吸収の向上による栄養の改善と体力や抵抗力を保つことで免疫力の維持が推測され、ひいては生産効率の向上が図られます。

| 悪臭対策

- 家畜飼育には臭気の問題が付きまといまます。遠く離れていても風のにり多くの住民の悩みであります。臭気抑制効果は飼育農家と一般住民との隔たりを無くす役割を果たします。
- 腸内環境の改善により、飼料の消化不良・栄養の吸収不良が改善され粗蛋白質の蓄積率が向上します。牛糞中の窒素含有率が低減することから牛糞からのアンモニアの発生が減り臭気が抑制されます。
- また、臭気の減少によりハエの発生の減少が認められます。

| 良質な堆肥

- 排出された牛糞・スラリーは同時に排出された有用微生物により適切な発酵をします。臭気も少なく、スカムの少ないスラリーができます。

| 飼料作成

- サイレージ作成に**ラクティクス**を使用することで安定的な品質のサイレージが作成できます。
- 良好な発酵を季節を問わず行うためには、温度・湿度(酸素量)・発酵させる素材等の条件により発酵速度、品質にバラツキを生じます。乳酸発酵をスムーズに行うため各種の乳酸菌を使用しております。
- また、麴菌・枯草菌・乳酸菌・酵母を組み合わせることにより、それぞれの特徴を最大限に引き出すことでその効果が発揮されます。



豚



| 豚の健康の維持

- 豚はさまざま条件で健康を害することがあります。寒さでお腹を冷やす・強いストレスを感じる(暑さ・餌が変わる・飼育環境の変化)・悪い菌が入ってくるなどの現象が起きると悪い菌が体内で暴れ始め、細菌のバランスが崩れ体調を崩し下痢を起こします。ラクティスの継続的な投与により、安定的な腸内フローラを確立(整腸効果)することで健康の維持ができます。
- 同時に腸内フローラを確立することで、悪玉菌(有害菌)が優勢菌にならず、大腸の健康を維持します。

| 飼料効率の改善

- 腸内環境の改善により、飼料の消化不良・栄養の吸収不良が改善され日増体重の増加(飼料要求率の改善)、枝肉重量の増加、肉質の向上、大腸の健康維持、死亡牛の減少など、いずれにしても飼料の消化・吸収の向上による栄養の改善と体力・抵抗力を保つことで免疫力の維持が推測され、ひいては生産効率の向上が図られます。

| 悪臭対策

- 家畜飼育には臭気の問題が付きまといます。遠く離れていても風のにり多くの住民の悩みであります。臭気抑制効果は飼育農家と一般住民との隔たりを無くす役割を果たします。
- 腸内環境の改善により、飼料の消化不良・栄養の吸収不良が改善され粗蛋白質の蓄積率が向上します。豚糞中の窒素含有率が低減することから豚糞からのアンモニアの発生が減り臭気が抑制されます。
- また、臭気の減少によりハエの発生の減少が認められます。



*パッケージ見本(変更の可能性あります)

